

様式第4号（第4条関係）

平成31年3月29日

福知山市議会議長 様

会派名 新政会
代表者名 藤田 守



政務活動費実績報告書

平成30年7月1日付け財政発第95-2号により交付決定のあった政務活動費において、平成30年度下半期（10月から3月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

記

- 1 平成30年度政務活動費の額（下半期）、365,888 円
- 2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項 目	金額（下半期）	主な支出内容
調査研究費	190,248	行政視察 156,120 タブレット端末通信費 34,128
研 修 費		
広 報 費	175,640	議会報告折込チラシ 106,855 両丹日日新聞折込チラシ68,785
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	365,888	

添付書類

- ・政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・政務活動費の支出額及びその使途に関する書類
- ・政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



(様式1)

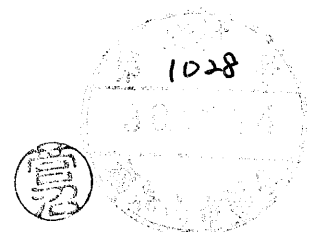
平成30年11月14日提出

福知山市議会議長
大谷 洋 介 様

会派名 新 政 会
代表者名 藤 田 守 

政務活動費研究研修視察報告書

- 1 視察・研修年月日 平成30年11月6日(火)～11月7日(水)
- 2 視察研修先 (1) 愛知県東海市 (2) 愛知県半田市
- 3 参加者氏名 藤田守・芦田眞弘・奥藤晃・柴田実・竹本和也・中嶋守
以上 6名
- 4 経 費 合計 156,120 円(26,020円/1人あたり)
- 5 視察・研修項目
 - (1) 愛知県東海市
地域支えあい事業について
 - (2) 愛知県半田市
幼保小中一貫教育(HANDAプラン)について
- 6 添付資料 視察研修行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



- 1 視察日：平成30年11月6日（火）
- 2 視察先：愛知県東海市
- 3 調査項目：地域支えあい事業について
- 4 視察理由

- (1) 本市では地域支えあいが問題となっている。自助・共助・公助、そして、近助（近所）のあり方・重要性が問われている。
- (2) 今後に向けて重要な課題であり、東海市HPで事前研究するとともに先進地の行政視察により課題対策等を学び本市へ反映したい。

5 調査概要

(1) 平成23年高齢者実態調査の結果

市在住の75歳以上の方は単身者13.2%、高齢者のみ世帯25.2%、体調がすぐれない38.4%、社会参加をしていない43.1%、公的サービスでは担えない日常の小さな困りごとを抱える高齢者が多い結果であった。これを解決できるのは、「お隣さんしかいないでしょ」の見解になった。

(2) 地域支えあい体制づくり事業

事業は、隣保活動などによる地域の見守り、ボランティア等による日常生活の援助、サロンの実施等による外出の機会及び住民同士の交流の場の創出である。地域支えあい活動登録団体は、平成24年度から始まり、現在22団体である。登録団体は、活動費の支給を受けることができる。登録団体であることを表すワッペンとピンバッチを支給される。

①各団体がめざしているもの（～スローガンはそれぞれ～）

地域住民同士のふれあい。気軽に声をかけあう。地域での絆づくり。PPK（ぴんぴんころり）を目指して。高齢者世帯と若い世帯との交流。

②現在の主な活動

見守り活動（各団体において住民による声かけ・見守り訪問）。生活支援（包丁研ぎ・庭木の枝切り・除草・家具の移動・不用品の撤去廃棄・ゴミ出し・障子の張り替え）。サロン（歩こう会・カフェ・体操・カラオケ）

③支えあい活動会員の声

周りがみな高齢者になってきており、地域で繋がっていかないといけな。見守りをしている内にだんだん地区の人と繋がっていった。むしろ活動者同士の関係ができたのが良かった。生活支援していると、簡単ことで困っているのがわかる。感謝され、元気をもらって案外いいもんだよ。

6 考察・効果

地域支えあい体制づくり事業の課題は、町内会・自治会や各種団体との連携、スローペース、活動拠点、支えあい会員の高齢化、後継者不在（担い手不足）である。（市内113町内会・自治会）

また、今後の展望は、地域包括ケア推進計画（地域支えあい活動を推進）として、生活支援コーディネーター（既存団体の支援、新規団体立ち上げ支

援)とコミュニティー活動と支えあい活動である。

7 本市での施策実現に向けた比較研究(効果及び課題)

東海市は、65歳以上人口24,982人高齢化率21.8%、65歳以上介護認定者数4,207人(16.8%)である。統計からも本市の方が、地域支えあい体制づくりについては、深刻な喫緊の課題であると感じる。

地域支えあい体制づくりは、公的サービスでは担えない、日常の小さな困りごとを解決できるのは、近所、つまりお隣さんしかいないと感じる。そのためには、気付きから行動化への支援、いわゆる一歩前への支援が何より大事である。あくまで行政からのお願いでなく、住民自らが必要性を感じ、話し合い、自分たちの地域をつくっていくことが重要である。

- 1 視察日：平成30年11月7日（水）
- 2 視察先：愛知県半田市
- 3 調査項目：幼保小中一貫教育（HANDAプラン）について
- 4 視察理由

- (1) 本市でも子育て支援については重要な課題である。少子高齢化が進む中で、小学校の統廃合、いじめ問題・貧困問題等課題が山積している。
- (2) 半田市HPで事前研究するとともに先進地の行政視察により課題対策等を学び本市へ反映したい。

5 調査概要

(1) 半田市のキャリア教育

平成24年度から子どもたち夢を追い求め、努力することの尊さを教え育てるキャリア教育に取り組んできた。夢や目標を持つということは、一度きりの大切な人生をよりよく生きるための第一歩である。

【幼稚園9（公6、私3）、保育園25、小学校13、中学校5】

★子どもたちが、よりよく生きるために必要な4能力：キャリアABCD

Action「夢の実現に向かって主体的に行動する力」（課題対応能力）

児童会生徒会サミット、アクティブラーニング、幼保小合同避難訓練

Believe「自分を知り自分のよさを信じる力」（自己理解・管理能力）

中学校区幼保小中懇談会、自己肯定感を高める教育活動等

Communication「他者を理解し人間関係を形成する力」

ごんごん駅伝大会、小中合同あいさつ運動、地域学習、出前授業

Dream「夢を追い求める力」（キャリアプランニング能力）

ドリームマップ、お仕事ファイル、職場体験活動、異校種体験

(2) 幼保小中一貫教育（HANDAプラン）

①キャリア教育の推進

3歳から15歳までの一貫したプログラムにしたがって、幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校で連携し、キャリア教育を推進する。

②中学校区幼・保・小・中懇談会の開催

幼・保・小・中で滑らかな接続ができるよう、中学校区ごとに懇談会を設置し、生活習慣、園児・児童・生徒や教員の交流などについて共通理解を図り、一貫した指導を推進する。

③二分の一成人式の開催

市内の4年生が一堂に会し、10歳の節目にこれまでの成長に感謝するとともに、職業人の話を聞いて将来の自分を想像したり、夢を描いたりする機会を持つ。

6 考察・効果

半田の教育は、キャリア教育をベースに元気いっぱい・笑顔いっぱい・優しさいっぱいの子供を育てることを目標にしている。このように、キャリア教育の充実は重要である。人は誰も、一度きりのかけがえのない人生を夢や

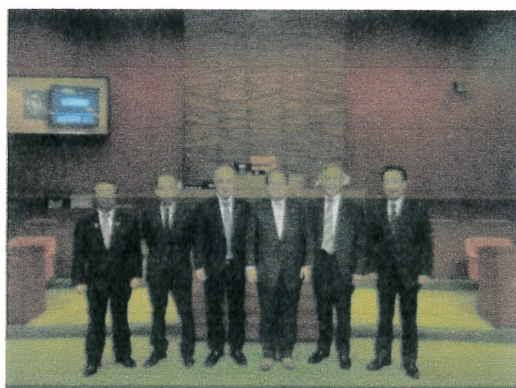
希望をもって、自分らしく、よりよく生きていきたいと願っている。半田市では、「つながり」を大切にし、子どもたち一人一人が、よりよく生きていくために必要な力を育む「キャリア教育」を推進しており成果が表れている。

7 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題）

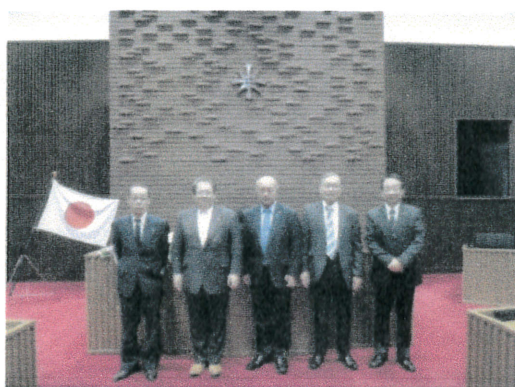
半田市では、キャリア教育を「生き方教育」と捉え、すべての教育活動のベースに位置付けている。半田市がめざす人間像は、本市にとっても必ず反映すべきことである。

ふるさとのよさを知り、愛し、誇れる人、かけがえのない命を大切にし、人の役に立とうとする人、確かな学力を身につけ、夢や目標に向かって自らを高めようとする人、望ましい生活習慣を身につけ、健康と体力の向上を図ろうとする人間像をめざすことは、本市にとって必要である。

新政会行政視察写真



東海市行政視察



半田市行政視察

新政会行政視察行程表

視察期間:平成 30 年 11 月 6 日 (火) ~ 11 月 7 日 (水) 1泊2日

参加人員 6 名

日次	月日 (曜日)	行 程	食 事
①	11/6 (火)	きのさき 8 号 のぞみ 220 号 名鉄名古屋本線 福知山・・・・・・京都・・・・・・名古屋・・・・・・太田川 8:37 10:07/10:26 11:00/11:31 11:46 視察項目 (13:30~15:30) 〒476-8601 愛知県東海市中央町 1-1 議会事務局 052-603-0031 ◎地域支えあい事業について 名鉄河和線 太田川・・・・・・知多半田… (徒歩 2 分) ホテル 16:00 頃 16:30 頃 *宿泊 カンデオホテル半田 喫煙 5 ルーム・禁煙 1 ルーム	
②	11/7 (水)	視察項目 (10:00~12:00) 〒475-8666 愛知県半田市東洋町 2-1 議会事務局 0569-84-0694 ◎幼保小中一貫教育 (HANDAプラン) について J R 武豊線 J R 東海道快速 ホテル・・・・半田市役所・・・・J R 半田・・・・大府・・・・名古屋 9:30 13:14 13:37/13:42 13:58/14:33 のぞみ 111 号 はしだて 7 号 ・・・・・・京都・・・・・・福知山 15:08/15:25 16:40	

宿泊

【カンデオホテル半田 (TEL0596-25-0331) 】

*愛知県半田市天王町 1-50-8

(様式3)

経費精算書

会 派 名 新 政 会

(単位：円)

月 日	支出項目	支出額	領収書 No
10月29日	交通費 宿泊費	150,720円	No1
10月29日	手土産代	5,400円	No2
支出合計		156,120円	

交通費・宿泊費：150,720円

MM00VFNN1A1C7H0FPQ79 RS-0208-20181029-0002-1830001
近畿日本ツーリスト 2018年10月29日

領 収 証

下記金額正に領収いたしました。

新成会 様

金 額： ¥150,720-

但 し 11/6～ ご旅行代金として
10/29 ご入金
24893-98234



日本国政府
200円

株式会社近畿日本ツーリスト
福知山支店
支店長 安武 茂雄

〒620-0940 京都府福知山市家原町
3丁目20-1 アールイン福知山2階
TEL: 0773-22-3809

注意 1金額の訂正したものは無効となります。〒620-0940 京都府福知山市家原町
2金額の頭部に通貨記号の表示をいたしております

＜お客様用＞

承認者: [Redacted] 発行者: [Redacted]

※詳細は別紙

平成30年10月12日

見積書

近畿日本ツーリスト

株式会社近畿日本ツーリスト関西

新政会 様

ご旅行開始日	平成30年11月6日(火)
ご旅行終了日	平成30年11月7日(水)
ご旅行方面	愛知
参加人員	6 名

福知山支店

〒620-0940 福知山市駅南町3-20-1アールイン福知山2階

TEL 0773-22-3809 FAX 0773-22-9838

担当者

合計金額 **¥150,720**

受領金額

差引額	150.720
-----	---------

項目	数量	単価	金額	備考
11/6 JR福知山～名古屋(乗車券・自由席特急券)	6名	6,960	41,760	
11/6 名鉄名古屋～太田川(乗車券)	6名	400	2,400	
11/6 名鉄太田川～知多半田(乗車券)	5名	400	2,000	
11/6宿泊 カンデオホテルズ半田	5名	11,730	58,650	
11/7 JR半田～福知山(乗車券・自由席特急券)	5名	7,710	38,550	
11/6 名鉄太田川～名古屋(乗車券)	1名	400	400	※1名帰福
11/6 JR名古屋～福知山(乗車券・自由席特急券)	1名	6,960	6,960	" (公務のため)
合計			150,720	

備考：

手土産代：5,400円

領 収 証

福知山市議会 新政会 様

No. _____

★

75,400 -

但

手土産代 2ヶ 代金にて

H30年 10月 29日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

福知山市字天田111番地

夜久花月堂

夜久 操

TEL0773-22-3468

支出科目: 調査研究費
合計金額: 34,128円

納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

平成30年度 番号 6700059261-00-00

納付者
〒 -
福知山市字内記13番地の1
新政会 様

タブレット端末通信費議員負担金
(会派請求分)
平成30年度下半期分(10月~3月)

納付金額 34,128円

納入期限 平成31年 3月25日

所属 01010000 市議会 議会事務局

会計 01 一般会計

款 20 諸収入

項 04 雑入

目 03 雑入

節 01 雑入

細節 60 その他の雑入

説明 15 タブレット端末通信料議員負担金

上記のとおり納付してください。

福知山市長
大橋 一夫

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013

領収日付印

(納付者保管)



納 め る と こ ろ

福知山市役所会計室及び各支所出納窓口

京都銀行 本店・支店

京都北部信用金庫 本店・支店

京都丹の国農業協同組合 本店・支店

関西アーバン銀行 福知山支店

近畿労働金庫 福知山支店

但馬銀行 福知山支店

但馬信用金庫 福知山支店

福知山市内の京都農業協同組合

福知山市内の中兵庫信用金庫

近畿2府4県の郵便局(大阪府、京都府、
兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)

65000179510000



タブレット端末使用状況表

(平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

会派名(新政会)

標 題	差出人	使用日時
各派幹事会の報告	藤田 守	30.10.1
総括質疑・自由討議のテーマの送付	藤田 守	30.10.3
会派視察の件	奥藤 晃	30.10.9
愛サポーター研修の参加について	藤田 守	30.10.10
東海市・半田市事前質問項目	奥藤 晃	30.10.10
会派視察の行程	奥藤 晃	30.10.11
会派視察の件	奥藤 晃	30.10.15
各派幹事会の連絡について	藤田 守	30.10.16
有害鳥獣要望と行政視察報告会資料の送付	藤田 守	30.10.17
11/9 行政視察報告会資料の送付	藤田 守	30.10.17
11/16 京丹後市議会の研修会参加について	藤田 守	30.10.17
産業建設委員の政策提言書の送付	藤田 守	30.10.19
タブレットアンケートの送付	藤田 守	30.10.25
行政視察報告会資料の送付	藤田 守	30.10.30
効果検証シート	奥藤 晃	30.10.31
政務活動費請求書の送付 (新政会)	藤田 守	30.11.5
無題	中嶋 守	30.11.9
行政視察の報告書 (差し替え分)	藤田 守	30.11.11
政策提言書 (最終案) の送付	藤田 守	30.11.12
会派行政視察報告書の送付について	藤田 守	30.11.14
決算審査委員会の自由討議のまとめ等	柴田 実	30.11.18
常任委員会グループ分けの基本的な考え方	奥藤 晃	30.11.19
総会終了しました。	藤田 守	30.11.20
ありがとうございました。	藤田 守	30.11.20
報酬等検討委員会の報告	藤田 守	30.11.21
議会報告 (案) の送付	藤田 守	30.11.25
会派の議会報告 (案) の送付	藤田 守	30.11.25

平成 29 年度決算審査の自由討議から	柴田 実	30.11.26
大志の会の政策提言（案）について	奥藤 晃	30.11.27
一般質問の仮通告の送付	藤田 守	30.11.28
議員報酬等検討委員会、幹事会のご連絡	藤田 守	30.11.29
一般質問の本通告の送付	藤田 守	30.12. 2
会派の議会報告（案）の送付	藤田 守	30.12. 2
有害鳥獣対策強化の要望活動報告書	藤田 守	30.12. 9
請願に対する対応	藤田 守	30.12.11
会派の議会報告について	藤田 守	30.12.11
各派幹事会の結果報告	藤田 守	30.12.14
議会だより原稿の送付	藤田 守	30.12.16
産業建設委員会審査報告書の送付	藤田 守	30.12.17
行政視察の写真のお願い	竹本和也	30.12.20
年始のあいさつ回りについて	藤田 守	30.12.22
12/26 の朝の集まりについて	藤田 守	30.12.25
常任委員会の所管グループ分け	奥藤 晃	30.12.25
忘年会の案内	奥藤 晃	30.12.25
忘年会の案内	奥藤 晃	30.12.25
常任委員会の所管グループ分け	奥藤 晃	30.12.25
年末のご挨拶	藤田 守	30.12.30
意見書提出の資料送付	藤田 守	31. 1. 4
政務活動費の依頼	藤田 守	31. 1.21
常任委員会の定数ほか	奥藤 晃	31. 1.22
平成 30 年度産業建設委員会報告書の送付	藤田 守	31. 2.13
竹本議員の状況について	藤田 守	31. 2.16
竹本議員の状況について	藤田 守	31. 2.18
部屋移動	竹本和也	31. 2.19
各派幹事会	藤田 守	31. 2.20
代表質問仮通告書等の送付	藤田 守	31. 2.21
退院します	竹本和也	31. 2.22
代表質問本通告書について	藤田 守	31. 2.25

議会だより代表質問の送付	藤田 守	31. 3.10

*** 摘要**

これは、差出人の送信のみのデータであるが、会派内は、コメントの書き込みでタブレットを使用している。

支出科目：広報費
合計金額：175,640円

領 収 書

PAGE 1

領収日 平成31年 1 月23日 伝票No. 00001334

新政会 様



企画・デザイン・複写伝票・コンピューター伝票
DM・チラシ・シール・カード・荷札・その他印刷全般

株式会社 **ワカギ印刷**

〒620-0035 京都府福知山市宇内記44番地の11 代表取締役 高木 繁
TEL (0773) 22-3166代 FAX (0773) 22-3167

商品コード/商品名	入数/ケース	数量	単位	単価	金額	備考
0 議会報告折込チラシ		19,400	枚	5.1	98,940	課
0 両丹折込用 1/12折り込み		19,300	枚			課
0 会派用		100	枚			課
	税抜額	98,940	消費税及び 地方消費税	7,915	合計金額	106,855

毎度ありがとうございます。上記金額領収致しました。

領 収 証

No. 2

お客様コードNo 010003

6208501

福知山市内記13-1

福知山市役所市議会事務局

市議会「新政会」

様

31年 1 月23 日

¥68,785 -

合計金額：
但し、消費税等 ¥5,095 を含みます。
折込代金として

上記の通り正に領収致しました。

福知山市篠尾新町1丁目99番地
有限会社 両丹日日新聞専売所
TEL 0773-23-8182

内 訳	金 額

■ 備考

手形期日： 年 月 日 No.
摘 要：



係

(注) 社印及び係印がない場合は無効です。

私達は、福知山市議会の最大
会派「新政会」の6名です。



(福知山市本会議場にて右から、
柴田実議員、中嶋守議員、藤田守
議員、芦田眞弘議員、竹本和也議
員、奥藤晃議員です。)
現在の活動状況をご報告致します。
委員会活動

市議会では、年4回(3月、6月、
9月、12月)の定例会などで、市の
行政課題などについて専門的に話
し合いを行うため、常任委員会や特
別委員会を設置し、それぞれの所管
事項にかかる議案審査や調査研究
を行っています。

新政会の議員は、総務防災委員会、
市民地域委員会、教育厚生委員会、
産業建設委員会、予算・決算審査委

員会の各常任委員会および議会運
営委員会、議会改革検討会議、議員
報酬等検討委員会、由良川改修促進
特別委員会、広報広聴委員会などの
委員会にそれぞれ所属しています。
また、教育厚生委員会委員長、産
業建設委員会委員長、予算・決算審
査委員会副委員長、議員報酬等検討
委員会委員長、議会改革検討会議副
委員長に就任し、委員会活動を積極
的に行っています。

会派活動

○行政視察

他市の優れた行政施策を本市に
生かすための視察です。成果は行政
視察報告会などで提言してまいり
ました。平成30年度は、長野県小諸
市・岡谷市。伊那市、また、愛知県
東海市・半田市を視察しました。

◇長野県小諸市【7月17日】

「持続可能な活力あるコンパクト
シティ小諸の再構築について」

小諸市の複合型中心拠点誘導施
設整備構想の課題と対応は、

①事業用地の確保が必要である。

都市機能の集約による賑わいの創
出の観点から、市役所敷地一帯に
近接し、空き店舗や空きビルが多
く、低・未利用地化していく街区
を事業用地の対象とし、隣接する
道路の整備も計画する。

②具体的な事業推進の方策は土地
の有効利用と利用者の利便性、施
設間の相乗効果を鑑み都市機能を

複合化した施設整備を進める。

③複合化する施設は、公共施設と
しては福祉施設とターミナル、公
共駐車場を対象とする。民間施設
としては商業施設を対象とするが
施設の所有区分などの問題から施
設はテナント方式を想定する。

④戦略的インフラマネジメントに
おいては賢く使うことが重要であ
る。集約と再編の反映として、特
徴は公的不動産の積極的な活用、
病院への財政支援、公共施設の複
合化であり参考となった。

◇長野県岡谷市【7月18日】

「防災行政の取り組みについて」



行政視察(岡谷市)

岡谷市の防災の課題と対策は、

①土砂、流木や災害ごみなどの置
場の確保、分別、処分方法、処分
場所の確保が問題であった。

②地域連絡員を配置し地域と連絡
体制を強化し、防災ラジオの配布な
ど複数の方法を確保した。

③市内すべての自主防災組織を会
員とする岡谷市自主防災組織連絡

協議会を平成20年に発足し組織間
の協力体制整備、連携強化を図った。
④災害に強い森林づくりは、指針の
策定と間伐・植樹などを実施した。

⑤平成28年岡谷市防災・減災基本
条例の施行、平成29年度から防災
の日(7月19日)に非常食を食べ
る日と定め啓発、小中学校の授業
において命を守る学習を実施して
いる。DVDの視聴や現地確認で
より理解が深まり参考となった。

◇長野県伊那市【7月19日】

「幼保小連携プログラムによる子
ども子育て支援について」



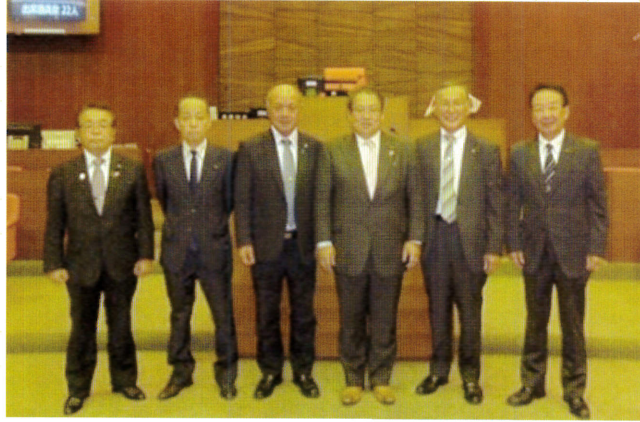
行政視察(伊那市)

伊那市のこども子育て支援は、
①生きる力のある子どもを育む魅
力ある保育、遊びの中から学ぶ保
育、人・自然・物と総合的にかか
わる保育、基本的な生活習慣を身
につける保育、意欲を持って行動

できる子の育成に努めている。

② 幼保小連携プログラムと切れ目のない相談体制の充実として、アプローチ・スタートカリキュラム、相互参観、キャリア教育を実践する。子ども一人ひとりの特性に合わせた支援や乳児家庭全戸訪問事業などきめ細かい施策が重要であり本市にとって参考となった。

◇愛知県東海市【11月6日】
「地域支えあい事業について」



行政視察（東海市）

東海市の地域支えあい事業は、①課題は町内会・自治会や各種団体との連携、スローペース、活動拠点、支えあい会員の高齢化、後継者不在（担い手不足）である。また、今後の展望は、地域包括ケア推進計画（地域支えあい活動を推進）として、生活支援コーディネーター（既存団体の支援、新規

団体立ち上げ支援）とコミュニティ活動と支えあい活動である。

② 東海市は、65歳以上人口24,982人高齢化率21・8%、65歳以上介護認定者数4,207人（16・8%）である。統計から本市の方が、地域支えあい体制づくりは喫緊の課題である。地域支えあい体制づくりは、公的サービスでは担えない、日常の小さな困りごとを解決できるのは、近所、究極のところお隣さんと感じる。気付きから行動化への支援、いわゆる一歩前への支援が何より大事である。あくまで行政からお願いでなく、住民自らが必要性を感じ、話し合い、自分たちの地域をつくっていくことが重要である。

◇愛知県半田市【11月7日】
「幼保小中一貫教育（HANDA）について」



行政視察（半田市）

半田市のキャリア教育は、

① キャリア教育をベースに元気いっぱい・笑顔いっぱい・優しいつばいの子供を育てることを目標にしている。人は誰も、一度きりのかげがえのない人生を夢や希望をもって、自分らしく、よりよく生きていきたいと願っている。半田市では、「つながり」を大切に、子どもたち一人ひとりが、よりよく生きていくために必要な力を育む「キャリア教育」の推進で成果が表れている。

② キャリア教育を「生き方教育」と捉え、全ての教育活動のベースに位置付けている。半田市がめざす人間像は、本市にとっても必ず反映すべきことである。ふるさとのよさを知り、愛し、誇れる人、かけがえのない命を大切にし、人の役に立とうとする人、確かな学力を身につけ夢や目標に向かって自らを高めようとする人、望ましい生活習慣を身につけ、健康と体力の向上を図ろうとする人間像をめざすことは本市にとっても必要である。

政務活動費

新政会で支出した平成30年度上半期（4月～9月）の支出状況は次のとおりです。

福知山市議会の政務活動費の交付は、法律・条例・施行規則で定められております。議員1名につき年

間18万円を限度として、上半期と下半期の実績に応じた分だけの後払いになります。政務活動費は、条例で定めた使途基準に基づくものとし、会派が行う調査研究・研修・広報・資料作成などに限られ、個人としての議員活動には使用できません。視察、研修についても交通費、宿泊費、研修受講料などに限定されています。また、市議会では平成29年10月からタブレットが導入され使用が始まりました。タブレット端末通信費は、会派が調査研究のために必要な、議会が指定するタブレット端末の通信に係る経費の一部であります。

平成30年度上半期（4月～9月） 政務活動費の支出状況

支出額合計	282,012 円
① 調査研究費	
小諸市・岡谷市・伊那市	216,920 円
タブレット端末通信費	29,632 円
② 研修費	
地方議員研究会	35,460 円

この議会報告は、1年間の活動のまとめとして作成しました。皆様には、**本会議の傍聴や「議会ホームページ」、「議会だより」**などでも議員活動をご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。